



# 香美市

# 議会だより

2008年5月

No.9



八王子(土佐山田町)

## 3月定例会

3月5日～18日

20年度当初予算決まる .....	2～3
市長の諸般の報告 .....	4～5
特別委員会委員長報告 .....	6～7
審査した議案 .....	8～9
連合審査、常任委員会審査 .....	10～15
市政を問う一般質問 .....	16～29
主な議会の動き .....	29～31

一般会計

# 152億5,300万円

門脇市長より平成20年度当初予算案が今議会に提出された。一般会計歳入歳出予算の内容は、グラフのとおりである。

歳入の中で自主財源の占める割合は、25.2%であり、市税は住民一人当たり約8万1,000円である。それに対し、住民一人当たりを使う金額は約50万8,000円であり、地方交付税等への依存度は極めて大きい。

国は、地方間の税源の偏在是正について格差の縮小を目指すとともに一層行政改革を推進するとしている。こうした状況のもと、平成二十年度の地方交付税は、財政状況の厳しい自治体に対して考慮した形となっており、本市もその恩恵を受けることとなる。しかし、歳入は市税がのびない状況を改善しない限り一般財源の確保が難しい状況には変わりない。

歳出については、中期財政計画における総枠を考慮しつつ、防災対策基盤整備、地域に根ざした産業の育成、少子・高齢化対策を含めた地域福祉施策の充実及び庁舎建設関連や

### 予算規模は

予算の総額は、百五十二億五千三百万円で前年比三・七%の増となっており、市税など自主財源が、約三十八億四千六百万円（構成比二五・二%）、地方交付税などの依存財源が

### 提案理由の説明

国は、地方間の税源の偏在是正について格差の縮小を目指すとともに一層行政改革を推進するとしている。こうした状況のもと、平成二十年度の地方交付税は、財政状況の厳しい自治体に対して考慮した形となっており、本市もその恩恵を受けることとなる。しかし、歳入は市税がのびない状況を改善しない限り一般財源の確保が難しい状況には変わりない。

約百十四億七百万円（構成比七四・八%）である。歳入不足を補うための基金繰入金は、総額で約六億二千百万円（前年度比二七・九%減）となり、市債は、総額で約二十三億七千九百万円（前年度比六七・三%増）となっている。歳出を性質別に大別すると義務的経費（人件費、扶助費、公債費）が約七十三億二千五百万円（前年比一・三%

前年度比3.7%増、保育園建設(土佐山田町)に4億5,000万円

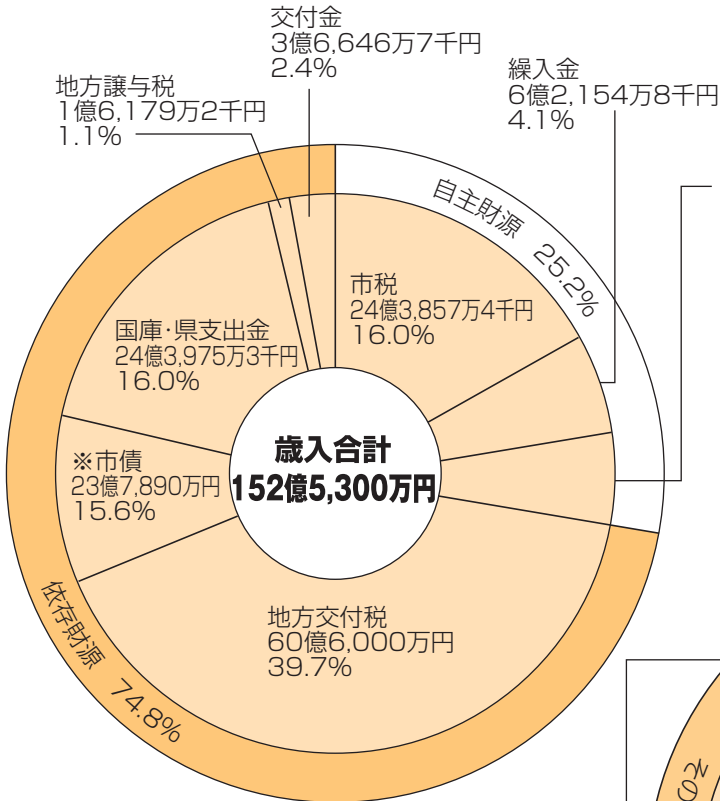
- ※**地方交付税**  
地方公共団体が、等しく自主的に行政運営ができるよう、経費の不足分を国が交付する
- ※**市債（地方債）**  
必要な財源の借入金
- ※**公債費**  
市債を定められた条件により支払う経費で、元金の償還および利子の合計
- ※**物件費**  
人件費・扶助費・補助費等・維持補修費以外の消費的性質の経費
- ※**補助費等**  
目的・根拠・対象により非常に多岐にわたっており、負担金補助および交付金等がある
- ※**扶助費**  
生活困窮者・身体障害者等に対し支出される経費で、生活保護法に基づくものが多い



# 平成20年度 当初予算

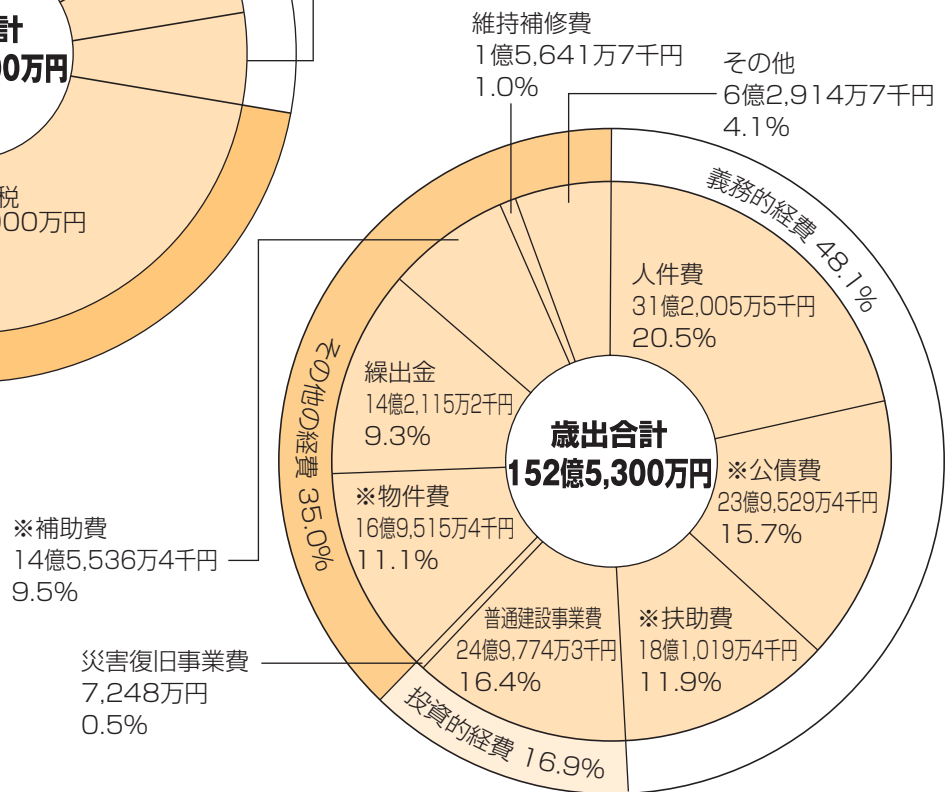
# どう使われる

## 一般会計 歳入



分担金及び負担金 1億8,911万4千円 1.2%  
 使用料及び手数料 3億1,769万2千円 2.1%  
 諸収入 1億8,740万6千円 1.2%  
 その他 9,175万4千円 0.6%

## 一般会計 歳出



※補助費 14億5,536万4千円 9.5%

災害復旧事業費 7,248万円 0.5%

## 平成20年度特別会計予算

会計	当初予算額	会計	当初予算額
簡易水道事業	5億1,418万7千円	住宅新築資金等貸付事業	6,118万6千円
水道事業	3億9,271万6千円	老人保健	7億3,046万5千円
工業用水道事業	2,125万2千円	国民健康保険(事業勘定)	39億9,753万5千円
公共下水道事業	7億9,795万1千円	後期高齢者医療	4億5,865万円
特定環境保全公共下水道事業	2億3,348万円	介護保険(保険事業勘定)	27億6,906万8千円
農業集落排水事業	1億2,775万9千円	介護保険(サービス事業勘定)	1,389万2千円